

ポストコロナ経済対策特別委員会 総括質疑順序(案)

順序	質疑項目・要旨	委員名
分類1 ポストコロナに向けた経済対策		
1	(1) 感染者数の減少、規制解除に伴う市経済の回復状況と雇用状況の改善状況について 新型コロナウイルス感染症関連の規制が解除されたが、飲食店や関連事業者からは「生活様式が変わってしまったのか客足が戻らない」という声を聞く。全面解除からまだ間がないので把握しづらいかもしれないが、市の経済回復状況を示してほしい。また、それに関連して雇用状況も示してほしい。	池田 章子
2	(1) 今後の市独自の経済支援・活性化策、生活困窮支援策及び第6波に向けた対策について 国の新型コロナウイルス感染症対策として、18歳以下に10万円支給という話が出ているが、今後の市独自の対策があれば示してほしい。	池田 章子
	(2) 暮らし・生業を支えるための経済対策について 国の補正予算に合わせて市独自の支援策を行うべきではないか。また、一時金などの支援対象や内容についてはどう検討しているのか。	中西 敦信
3	(1) 客船受入れについて 令和3年11月10日、1年9か月ぶりに「クルーズ船飛鳥II」が長崎港に寄港したが、今後、寄港の増加など、交流人口の拡大が見込まれる中であって、域外からの来訪者の消費拡大の取組について伺いたい。 新型コロナウイルス感染者数は減少しており、クルーズも再開の動きがある中、クルーズ船メンテナンス事業の今後の見通しを教えてください。	西田 みのぶ
分類2 再生可能エネルギー等の活用可能性		
4	(1) ゼロカーボンシティ長崎について 2021年3月に「ゼロカーボンシティ長崎」を宣言し、2050年までに二酸化炭素実質排出量ゼロのまちを目指す中、実行計画の改訂や近隣町との連携を行っていくこととなるが、今後の実行計画に対する予算の考え方について伺いたい。	西田 みのぶ
5	(1) 再生可能エネルギー等の活用可能性について 現在、長崎大学において洋上風力発電を電源とする浮沈式養殖であるインテリジェント養殖の研究が進んでおり、再生可能エネルギーの活用可能性が水産業にも資すると思われる。今後、この可能性についても調査研究を進めるべきと考えるが、市の見解を伺いたい。	永尾 春文
分類3 社会問題への取組		
6	(1) 長崎市女性つながりサポート事業について 当委員会で9月末までの状況について報告を受けたが、その後の状況について示してほしい。	池田 章子
	(2) コロナ禍が浮き彫りにした社会問題への取組について 生理の貧困に対する支援として公立学校のトイレに生理用品を常備すべきではないか。また、長崎市女性つながりサポート事業の相談業務の中で、必要に応じて生理用品の提供を行っているが、困っている人に広く届けるため、公共施設での無償配布を検討すべきではないか。	中西 敦信